

監督・競技者注意事項

1. 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮し、特に教育的配慮のもと進行する。
2. 競技に際してはシューズ又はオールウェザー用のスパイクを使用すること。(スパイクのピンは全種目9mmを超えないものとする。シューズについては靴底が全種目3cmを超えないものとする。ピンの長さ、靴底の厚さは招集の際に目測で行うが、判断が難しい場合は計測器を使用して計測する場合もある。シューズ、スパイクが今回の規則を超えた場合は、オープン参加として走る)
3. 100m(5年、6年)では、予選をタイムレースで行い、決勝を予選上位8番までの競技者、予選9番～24番までの競技者は第2レースを行う。決勝ボーダーライン上で1000分の1まで同タイムが出た場合、指導者による抽選を行う。
4. 800m(5年、6年)は、タイムレース決勝としてタイムにより1位から8位までを決定する。800mのスタートはオープンスタートとする。
5. スタートの合図はイングリッシュコールで行う
6. 100m、800m、コバインド A80mハードル、男女混合4×100mリレーの第1走者の不正スタートについては、旧競技規則に準じ同一競技者が2回フライングをした場合には失格とし、オープン参加として走る。
7. 危険防止のため、各走者はゴール後も自分のレーンを走り減速する。
8. トラック種目(100m、コバインド A 80mH、混合リレー)の出発姿勢はクラウチングスタートとする。予選、決勝ともスターティングブロックを使用する。800mはスタディングスタートとする。
9. 男女混合4×100mRは男女各2名から編成され、走順は自由とする。メンバー変更は、補欠として登録されている選手からとし、他の競技に出場している選手からの変更は認めない。(補欠についても男女各1名ずつとする。)
10. リレー競技に出場する選手のユニホームは原則としてチーム全員とも同じデザインとする。但し、男女による型の違い、デザイン、配色が同一であれば、選手によりユニホームのタイプを選択、また、異なるメーカーのユニホームを着用することも認めるものとする。
11. リレー競技のバトンパスについて
 - (ア)すべてのバトンパスにおいてテイク・オーバー・ゾーンの外から走り出さないこと。
 - (イ)バトンを渡し終わった走者は、走路が空くまで自分のレーンにとどまること。
 - (ウ)バトンパスの途中で、あるいはバトンパスが完了していない状態でバトンを落としたら渡し手(前走者)が拾うこと。
12. リレー競技では、レース終了後に次走者がつけたマーカーを前走者が必ず回収する。マーカーは各クラブで準備する。
13. コバインド A 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。
14. コバインド A の走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。
15. バーの上げ方は次の通りとする(男女とも共通)
 - 男子:(練習) 1m。1mから競技を開始する。

男子	1m00	1m05	1m10	1m15	1m18	1m21	1m24	1m27	以降3cmずつ
----	------	------	------	------	------	------	------	------	---------
 - 女子:(練習) 90cm。90cmから競技を開始する。

女子	90cm	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	1m18	1m21	以降3cmずつ
----	------	------	------	------	------	------	------	------	---------
16. コバインド A80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第

1 ハードルまで 13m、最終ハードルからフィニッシュラインまで 11m とする。

17. コンプイント B の走幅跳、ジャベリックボール投は全員 2 回の試技とする。
18. コンプイント B ジャベリックボール投げの助走距離は 15m 以内とする。
19. コンプイント B ジャベリックボール投げの試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。
※羽だけを持って投げることは禁止する。
20. コンプイント A,B について
(ア) コンプイント 競技は以下の順で行う。
 - ① コンプイント A : 80m ハードル、走高跳
 - ② コンプイント B : 走幅跳、ジャベリックボール投
 - ③ コンプイント 競技の各種目の得点は、「JAAF 小学生混成競技得点表 (2022 年度改訂)」による。
 - ④ 80m ハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
 - ⑤ 100 点以下の記録は、すべて 100 点とする。
 - ⑥ スタートまたは試技を行ない、参考記録 (80m ハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録)、記録無し (DNF/NM)、失格の場合は、50 点 (参加点) とする。
 - ⑦ スタートまたは試技を行わない場合は、棄権とし、0 点とする。
 - ⑧ 最初の種目で欠場した競技者は、2 種目目には出場できない。
 - ⑨ 2 種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。
 - ⑩ 招集時間内に点呼を受けること。怠った場合は棄権とみなす。招集場所は、北サブゲートとする。
 - ⑪ 招集場には、競技に出られる服装 (ナンバーカードをシャツの胸と背につけた状態) で集合すること。
21. 混合 4 × 100m R のオーダーは、オーダー用紙 2 枚に記入し、招集完了 60 分前までに選手受付 (正面玄関内ロビー受付) に提出すること。予選のオーダー用紙は、受付時に配付する。決勝のオーダー用紙は、予選終了後決勝進出チームに対して正面玄関内ロビー受付で配付する。
22. 各種目上位 3 位まで表彰する。競技終了後に表彰式を行うので玄関内に集合すること。
※ 4 位から 8 位の賞状は受付に置いておくので代表者が引き取りに来ること。
23. 競技場内には大会役員以外は立ち入り禁止とする。
24. サブトラック、雨天練習場の使用は指導者同伴に限る。また、雨天練習場は雨天のみ使用可 (運営側が使用の判断をする) とする。サブトラック、雨天練習場には選手と指導者 (監督、コーチ) 以外は入場できない。監督・コーチ用リストバンドを受付時に配付する。尚、出場人数に応じて配布する。(最大 1 チーム 6 名までとする)
25. 抗議は、予選では結果の正式発表後 15 分以内、決勝では結果の正式発表後 30 分以内に行わなければならない。抗議場所は選手受付 (正面玄関内ロビー受付) とする。
26. クラブチームの横断幕・のぼり等の設置はホームストレートのみとする。設置については観覧者の妨げにならないようにする。
27. 各選手の荷物は、各クラブ、個人で責任をもって管理すること。
28. ゴミは、各クラブ、個人で持ち帰ること。